MOMG-213SD-2P

1.3kWマイクロ波発振器(スイッチング+ドロッパ方式)

基本仕様

構成	電源部と発振部の二筐体構成
外形寸法	電源部:480(W)×550(D)×349(H) mm ※突起物等は除く
	発振部:285(W)×233(D)×223.5(H) mm ※突起物等は除く
質量	電源部:約35kg 発振部:約7kg
塗装色	マンセル5Y7/1 半ツヤ
入力電源/入力容量	AC200V±10%、3相、50/60Hz / 約3kVA
接地	D種
出力モード	CW(連続)及びパルス変調(20kHzmax/Duty50%)
周囲温度/湿度範囲	0~40°C/35~80%(結露無きこと)
使用環境	屋内設置、粉塵等無きこと。
冷却方式	電源部:強制空冷
	発振部:強制空冷
保護機能	1.アノード過電流、2.発振部異常(マグネトロン過熱または、カバー開)、
	3.高圧電源異常、4.外部インターロック、5.電源部カバー開
出力制御方式	インバータ(PWM)+ドロッパ方式 / 定電流制御
公称発振出力	連続波/パルス:100W~1.3kW/100Wp~2kWp(整合負荷において)
発振周波数	2450MHz ± 25MHz
安定度	10%以内(1.3kW出力時、瞬時変動及び初期ドリフトを除く)/1時間
リップル	8%p-p以下(整合負荷において、1.3kW出力時)
使用マグネトロン	スペクトラム安定球(空冷)
導波管、フランジ	WRJ-2、BRJ-2
付属品	入力電源用ケーブル(5m)、電源部-発振部間ケーブル(4m)、
	予備ヒューズ、完成図書、取扱説明書

特徴と注意点

・軽量化

インバータ方式による高圧電源なので、低リップル型(MOMG-213V-P)と比較して軽量です。

・低リップル

スイッチング+トランジスタドロッパ方式を採用しているため、出力全域(20-100%)においてリップルが小さい。 ただし、マグネトロンの要因による影響は除きます。

・発振スペクトラムについて

マグネトロンを標準球より発振スペクトラムの安定しているスペクトラム安定球を使用しています。

- ・パルス変調について
 - 1)最大変調周波数は、20kHzです(duty50(%)以下に相当するパルス幅での運転については、性能保証外です)
 - 2)パルス運転する場合、別途パルス発振器をご用意ください。

リモートモードで外部出力設定信号にパルス信号を入力することにより、振幅と周波数に同期したパルス マイクロ波が出力します。

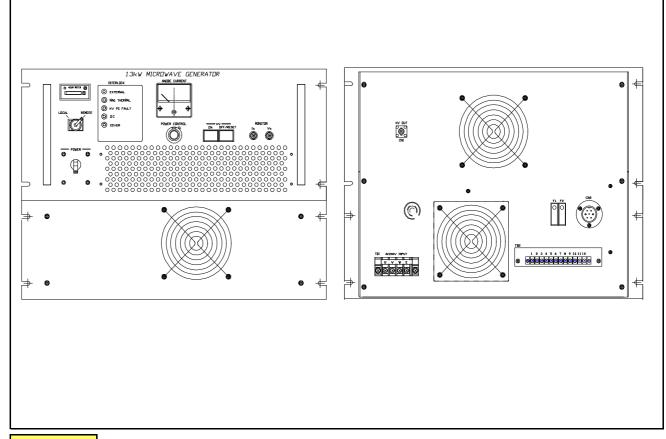
10us以下のパルス幅の場合、マイクロ波が出力しない場合があります。

- 3)パルスモードでは、2kWpまで出力可能(平均マイクロ波電力1.3kW以内)
- ・反射電力保護用のアイソレータを発振部出力端へ必ず入れて下さい。

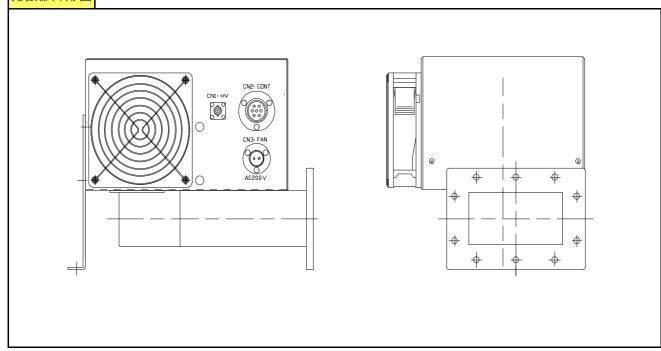
使用しない場合、過大な反射電力によりマグネトロンを含む発振器の故障または、動作不良となる場合があります。

・入射電力及び反射電力のマイクロ波出力値の表示機能はありません。 (アノード電流値のみ)

電源部外形図



発振部外形図



Revision_250501-00

※カタログの内容は、予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。

● 株式会社 太田エレクトロニクス

〒327-0844 栃木県佐野市富岡町1719-2

TEL: 0283-21-2353 FAX: 0283-21-2354



このカタログに掲載されている製品及び弊社従来品をご使用の際には、製品に付属している[取扱説明書]や注意事項を必ずお読みいただき記載内容をお守り下さい。 また、当社製品を使用、または、不具合発生など付随的な損害に関して、弊社は一切責任を負いません。